

(別紙様式)

教科用図書調査に関する報告書

教科	特別の教科 道徳
----	----------

発行者 略 称	教科書名	選定委員から付された意見
東 書	新訂 あたらしいどうとく 1 新訂 新しいどうとく 2 3 4 新訂 新しい道徳 5 6	・ いじめを扱った教材は、目次の中で色分けされているが、数は少ない。 ・ 低学年では読み物だけでなく、4コマ漫画等、提示方法に工夫がある。 ・ 自己肯定感を育む教材、多様性に配慮した教材などがあり、好感が持てる。 ・ 「気づく」「考える」「話し合う」「振り返る」「見つめる」「いかす」といった児童が考える道すじがきちんと書かれている。 ・ 「白旗の少女」は児童に読ませたい教材である。 ・ 足尾鋳山鋳毒事件を取り上げた教材がある。
学 図	かがやけみらい しょうがっこうどうとく 1ねん きづき・ま なび 小学校どうとく 2年・3年 きづき・まなび 小学校道徳 4年・5年・6年 きづき・まなび	・ 高学年になるといじめを扱った教材があるが、学年によって偏りがある。 ・ 別冊ノートがあり、書くスペースが十分ある。 ・ いじめ問題について、直接的に扱うものは少ないが、児童に分かりやすい教材が多い。
教 出	しょうがくどうとく 1 はばたこうあすへ 小学どうとく 2・3 はばたこう明日へ 小学道徳 4・5・6 はばたこう明日へ	・ 副読本等を柔軟に活用できるよう、教材配列が工夫されている。 ・ 同じ領域の教材を2つ連続して学ぶよう配列されている。 ・ 児童の身近な生活の中から内容を取り上げており、分かりやすいがオーソドックスである。
光 村	どうとく 1・2・3 きみが いちばん ひ かるとき 道徳 4・5・6 きみが いちばん ひ かるとき	・ 一番児童に学んでほしいことは、いじめは絶対にしてはいけないことであり、いじめに関する教材が多いので、大変良い。 ・ いじめ防止対策推進法や世界人権宣言、ハンセン病、子どもの権利条約などを取り上げている。 ・ 「ぼくの名前をよんで」は、児童に読んでもらいたい教材である。 ・ 「私には夢がある」は、原作に忠実に書かれている。 ・ B5サイズで小さい。 ・ ヨシタケシンスケの書いた文が取り上げてある。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。

日 文	しょうがくどうとく いきるちから 1・1 どうとくノート 小学どうとく生きる力 2・2 どうとくノート 3・3 どうとくノート 小学道徳 生きる力 4・4 道徳ノート 5・5 道徳ノート 6・6 道徳ノート	・ 5年でいじめ問題に関する教材で、傍観者について取り上げているのが良い。 ・ 6年でいじめ問題と法律を2ページにわたって取り扱っている。 ・ 自分を守る力という内容についても、取り扱っている。 ・ ユニセフや子どもの権利条約についても取り上げている。 ・ ながらスマホの危険性という新しいテーマを取り扱っている。
光 文	しょうがく どうとく ゆたかな ころ 1ねん・2年 小学どうとく ゆたかな心 3年・4年 小学道徳 ゆたかな心 5年・6年	・ いじめについて取り上げているが、やや弱い。 ・ 障がい者問題を取り上げている。 ・ いじめ問題に関する教材が少ない学年があり、ばらつきがある。
学 研	新・みんなのどうとく 1・2・3 新・みんなの道徳 4・5・6	・ 5年「いじめをなくすために」では、児童にストレートに訴える内容で、印象的だった。 ・ 6年では、ユニバーサルデザインマークやインターネットの使い方、日本の人口問題や育休の取得率など、最新の課題について取り扱っている。
廣 あかつき	みんなでかんがえ、はなしあうしょうがくせい のどうとく1 じぶんをみつめ、かんがえる どうとくノート1 みんなで考え、話し合う 小学生のどうとく 2・3 自分を見つめ、考える どうとくノート2・3 みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 4・5・6 自分を見つめ、考える 道徳ノート4・5・6	・ 障がい者問題を取り扱っている。 ・ 「ぼくの名前をよんで」「ふわふわことば ちくちくことば」等、良い教材を取り上げている。 ・ 資料の後に簡単な問いが2つあり、児童の多様な意見を引き出せる。 ・ 題材の後に、資料で何を学ぶかが明記されており、児童にとって分かりやすい。 ・ 別冊は重いが、中身が充実している。 ・ 別冊が教科書に収まり、活用しやすい。 ・ ひとくくりの評価に、別冊が使いやすい。 ※選定委員から採択にふさわしい教科書との意思表示があった。